安全・安心 人にやさしいまちへ！

15人の議員が一般質問

質問は9月6日、7日、8日の3日間で行われました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

問 給食食材 放射能汚染は大丈夫か
答 納入業者への徹底を図る

水野恭子 議員（共産党）

①平成23年7月、市長は、平和市長会議に加盟されたが、積極的施策として、㋐小・中学校の広島派遣事業を毎年行うべき。㋑早期に非核平和都市宣言碑の建設を㋒「核兵器禁止条約」の早期実現を求める署名用紙を公的施設に置くべき。

総務部長 ㋐平和都市推進協議会で継続すべきと方向性が示された場合、必要な措置をとる。㋑24年3月20日をめざして進める。㋒署名については一定の協力を行う。

②保育所、小学校の給食食材には福島産のさやえんどうや茨城産の白菜など多く使われているが、放射能汚染は大丈夫か。出荷制限の基となる政府の規制値も「暫定」であって発ガン性などリスクを検証していない。これで安全といえるのか。心配な食材は検査し、地元野菜をもっと広げよ。

保健福祉部長 市場に流通しているものは、検査済みであり、安全と考える。しかし、子どもたちの健康に影響ある食材であり、今後の食材に関する情報は、業者にも徹底する。地元野菜は拡大したい。

③窓口での一割負担の老人医療助成制度は安心して医療が受けられる制度として喜ばれている。制度の継続を府に申し入れ、市独自でも行うべき。

市民部長 この制度の持つ意義は大きいと認識。京都府に要望し、市独自では考えていない。

④大住ケ丘地内の段差解消と松井山手駅の障害者用の一時駐車場設置を。

建設部長 段差解消は計画的に実施。駐車場設置は今後、公安委員会等関係機関との協議を行い、設置の可否について調整を行う。

⑤雨水を確保し、災害時に利用できる雨水タンク設置について設置費用の補助をすべき。

経済環境部長 市民の自発的な取り組みや工夫を期待している。助成は考えていない。

地元野菜がならぶ野菜売り場

議会日誌

【8月】
1日 広報編集特別委員会
9日 京都府木津川市議会視察来庁
19日 総務常任委員協議会
23日 文教福祉常任委員協議会
24日 議会運営委員会(29日)
26日 市町村議会広報研修会
31日 第3回定例会〈議案上程〉

【9月】
6日 第3回定例会〈一般質問〉
7日 第3回定例会〈一般質問〉
8日 第3回定例会〈一般質問〉
9日 文教福祉常任委員会
12日 建設経済常任委員会
13日 総務常任委員会・協議会
14日 文教福祉常任委員協議会
15日 議会運営委員会(20日)
16日 建設経済常任委員協議会
22日 第3回定例会〈議案採決〉
議会運営委員会
広報編集特別委員会
30日 文教福祉常任委員協議会

【10月】
3日 市町村議会委員長研修会
4日 広報編集特別委員会(13、25日)
5日 全国都市問題会議(～7日)
12日 決算特別委員会(14、18、19、20、27日)
17日 近畿市議会議長会(28日)
25日 茨城県土浦市議会視察来庁
（以上主なもの）

問 節電用測定機器の貸出しを
答 他市の取り組みを参考に検討

櫻井立志 議員（公明党）

①省エネ・節電を啓発するため、「省エネナビ」などの電力消費量の測定機器の貸し出し制度を導入してはどうか。

経済環境部長 省エネの啓発資材の一つとして認識している。他市町の取り組みや活用頻度について参考にしていきたい。

②親子で楽しく、環境家計簿をつけ、優秀家庭を顕彰するなどの認定制度を設置し、省エネ促進を図るべきと考えるが。

経済環境部長 府の関係機関が進める認知制度と連携して、参加家庭を増やし、省エネ促進を図っていきたい。

環境パートナーシップによる省エネ相談の様子

③三山木駐輪場などを拠点として、電動自転車のシェアリングやレンタル制度を導入してはどうかと考えるが。

安心まちづくり室長 自転車専用道などの環境整備の進展に伴い、駐輪場を運営する指定管理者に、制度導入を積極的に提案していきたい。

④広域避難所としての学校施設の整備について、本市の考えは。

教育部長 体育館などに洋式トイレの設置や段差解消について、校舎等の新増築時において実施。避難所として必要な整備は、施設の状況に応じて、順次整備を図りたい。

危機管理監 避難所での自家発電設備は、まず中学校から整備を検討している。飲料水について、給水タンクの備蓄数を増やす予定。プライバシーに配慮したスペースの確保について、教室の活用を研究。避難所ボードを順次購入していく。節電などの省エネ対策では、非常用の照明をLED化することを検討。

⑤ジェネリック医薬品の普及のため、利用を促進する「差額通知サービス」を実施すべきでは。

市民部長 医療費の経済的負担の軽減を図ることは有効な手段と考える。国保連合会と連携し、実施に向けて順次協議を進めたい。

問 新田辺駅西側の椋鳥対策を
答 対策実施する報告を受ける

南部登志子 議員（無会派）

①観光施策と地産地消の推進について。㋐観光案内所を駅に近い場所に移し、正規職員の配置を。㋑他市では、市のキャラクターを用いて積極的に物品販売を行い、一定の収入を確保している観光協会もある。本市でもこうした取り組みを。㋒観光施策を盛り上げていく上で地産地消を取り入れることは重要と考えるが、市の認識は。㋓地元野菜を用いたレシピカードの配布を行ったり、地産地消認定シールを作成して、市内の食料店や飲食店に貼ることは地産地消の推進に有効と考えるが。

経済環境部長 ㋐観光協会に伝える。㋑本市のキャラクターを使った土産物やグッズを開発して、地元企業の振興に結びつけることが重要。今後、観光協会や商工会等と連携し、積極的に進める。㋒食べることも観光の重要な要素の一つ。今後、さらに地元農産物の普及啓発に努める。㋓認定シールについては、JAS法など食品表示の問題で制度化することは難しい。

市長公室長 ㋓レシピについては、年明けの1月から6月まで、広報紙で特産品や旬野菜の効能、メニューを紹介していく。

②普賢寺地域の少子化問題は、土地利用の問題もあって深刻な問題になりつつある。しっかりとした対策を行っていく時期にきているのでは。

総務部長 調整区域での少子化はとまりにくいのが現実。今までの事業を継続し、地域で今後のあり方について十分話し合っていただきたい。

③公共交通バスは十分に活用できる状況にない。公共交通タクシーの導入を図り、もっと利用しやすいように整備を。

安心まちづくり室長 検討していない。

④新田辺駅西側における椋鳥被害の対策を。

経済環境部長 関西電力から効果ある対策を実施すると報告を受けた。

電線に群がる椋鳥の大群